

# インフルエンザの流行と対応について①



発熱したら？！

家庭では、体を冷やす、  
安静、こまめな水分補給を  
行ってください。

## インフルエンザについて

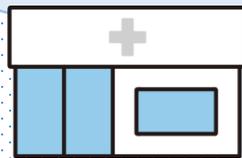
インフルエンザの流行シーズンに入りました。全国的に感染者数が増加しており、世田谷区でも学年閉鎖や学級閉鎖の対策が取られている学校もあります。  
小児では、中耳炎、気管支炎や肺炎以外に、脳症・脳症や心筋炎を合併することもあります。インフルエンザは、日本の小児の脳炎の最大の原因で、毎年100～150人が脳炎になります(2024/25シーズンは181例)。

家庭での見守り！



就学期以降の小児や未成年者では、発熱から2日間は異常行動に伴う事故防止などを念頭に、見守りや安全対策を行ってください。

医療機関の受診！



呼吸が苦しそう、けいれん、呼びかけても反応が乏しい、つじつまの合わないことを言ったり動き回ったりするなど異常言動が見られたときは医療機関を受診してください。



小児科医師

インフルエンザ検査は12時間後？

インフルエンザ迅速検査は、発症から12時間以内では正しい結果が出ない可能性があるため、検査は「発症12時間以降」に実施することが望ましいです。